



# 平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日

配当支払開始予定日

平成30年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	3,896	14.1	612	33.7	665	24.4	422	14.6
29年12月期第2四半期	3,413	34.8	457	50.1	534	42.2	368	60.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 422百万円 (14.9%) 29年12月期第2四半期 367百万円 (59.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	48.40	
29年12月期第2四半期	42.24	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	12,257	7,768	63.4	889.36
29年12月期	11,790	7,433	63.0	850.99

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 7,768百万円 29年12月期 7,433百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		10.00		10.00	20.00
30年12月期		10.00			
30年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	3.0	1,250	9.2	1,290	2.4	850	10.2	97.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	9,553,011 株	29年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	817,814 株	29年12月期	817,763 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	8,735,208 株	29年12月期2Q	8,735,248 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済は、企業業績が好調に推移し、雇用・所得環境も良好な状況が続くなど景気は緩やかな回復基調が持続しております。一方、海外に目を転じますと、米国発の貿易摩擦問題や国際的な原油価格の高騰、中東・東アジアにおける地政学リスクなどわが国経済に悪影響をもたらしかねない要因も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社の属する建設業界はオリンピック前の嵐のように仕事が少ない時期を経て、建設ラッシュがピークを迎え、大変な活況を呈しています。仕事が潤沢にある一方で、人手不足、輸送費の上昇、資材の納入遅れなど、さまざまな課題が噴出しています。

PCカーテンウォール業界も、業界各社が力を合わせてもさばききれないほどの需要が発生しております。

当社のPCカーテンウォール事業は、仕事をお断りせざるをえないほどの恵まれた受注環境な一方、技術的に、規模的に当社しかできない案件は、生産力の限界を超えて受注せざるをえない状況です。そのため、通常よりも割高な労働力や、資材、外注工場を活用せざるをえず、様々なコストが上昇し、工場稼働率向上に伴う利益上昇を減殺する要因となっています。こうした高水準の生産量の中で、品質と納期を守りながら安全に生産・出荷・取付しでゆくことが今後の課題です。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブのプール以外のリニューアル工事事業の拡大を図っております。

当社企業グループの業績は売上高は38億96百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益6億12百万円（前年同四半期比33.7%増）、経常利益6億65百万円（前年同四半期比24.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億22百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

なお、受注高は54億91百万円（前年同四半期比22.4%増）、受注残高は163億93百万円（前連結会計年度末比10.8%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

当第2四半期連結累計期間においては、工場の稼働が徐々に上がってきているため、当セグメントの売上高は38億10百万円（前年同四半期比22.0%増）、セグメント利益は6億43百万円（前年同四半期比44.6%増）となりました。なお、売上のトレンドに季節性はございません。

#### ②アクア事業

当第2四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修の受注は予定を下回りました。

当セグメントの売上高は62百万円（前年同四半期比75.3%減）、セグメント損失は20百万円（前年同四半期は19百万円のセグメント利益）となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は23百万円（前年同四半期比38.6%減）、セグメント損失は15百万円（前年同四半期は11百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は122億57百万円と前連結会計年度末と比較して4億67百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債権が5億28百万円減少したことと、未成工事支出金が8億56百万円増加したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は44億89百万円と前連結会計年度末と比較して1億31百万円の増加となりました。これは主に、未成工事受入金が2億26百万円減少したことと、支払手形・工事未払金等が4億5百万円増加したことによるものであります。

③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は77億68百万円と前連結会計年度末と比較して3億35百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4億22百万円増加したことと、配当金の支払いにより87百万円減少したことにより3億35百万円増加したことによるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して2百万円減少して9億95百万円(前年同四半期比0.3%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に未成工事支出金の増加額8億56百万円、税金等調整前四半期純利益の計上6億64百万円及び売上債権の減少額4億57百万円により3億71百万円の資金増加(前年同四半期比28.0%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出2億15百万円、貸付金の回収による収入2百万円により2億13百万円の資金減少(前年同四半期は1億35百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出1億72百万円、社債の償還による支出50百万円、短期借入金純減少額50百万円及び配当金の支払額87百万円により3億61百万円の資金減少(前年同四半期は4億3百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,198,859	995,382
受取手形・完成工事未収入金等	923,444	994,457
電子記録債権	1,846,180	1,317,686
未成工事支出金	2,900,530	3,756,741
その他のたな卸資産	70,166	80,280
その他	89,585	151,556
流動資産合計	7,028,767	7,296,104
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	456,551	538,520
土地	1,846,191	1,846,191
その他(純額)	444,895	553,367
有形固定資産合計	2,747,638	2,938,080
無形固定資産		
	42,217	39,636
投資その他の資産		
投資有価証券	225,592	223,956
保険積立金	856,713	875,997
投資不動産(純額)	125,262	124,850
退職給付に係る資産	112,780	108,457
その他	668,544	667,460
貸倒引当金	△16,567	△16,567
投資その他の資産合計	1,972,325	1,984,155
固定資産合計	4,762,181	4,961,872
資産合計	11,790,948	12,257,976
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	631,255	1,036,729
短期借入金	564,000	464,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未成工事受入金	1,329,390	1,102,537
引当金	71,918	67,442
その他	371,229	612,056
流動負債合計	3,067,793	3,382,765
固定負債		
社債	160,000	110,000
長期借入金	531,000	409,000
役員退職慰労引当金	437,952	448,982
その他	160,554	138,531
固定負債合計	1,289,506	1,106,513
負債合計	4,357,299	4,489,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	4,238,980	4,574,404
自己株式	△238,389	△238,430
株主資本合計	7,383,953	7,719,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,694	49,360
その他の包括利益累計額合計	49,694	49,360
純資産合計	7,433,648	7,768,698
負債純資産合計	11,790,948	12,257,976

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
完成工事高	3,413,572	3,896,031
完成工事原価	2,597,080	2,927,232
完成工事総利益	816,491	968,799
販売費及び一般管理費	358,683	356,677
営業利益	457,807	612,122
営業外収益		
受取利息	265	218
受取配当金	1,241	1,704
投資有価証券売却益	7,102	-
投資不動産賃貸料	3,954	3,835
受取家賃	5,984	6,637
鉄屑売却収入	9,965	18,277
テナント退店違約金受入益	55,400	19,576
その他	7,238	11,419
営業外収益合計	91,152	61,669
営業外費用		
支払利息	9,899	5,867
不動産賃貸費用	1,702	1,610
その他	2,823	1,205
営業外費用合計	14,425	8,683
経常利益	534,534	665,107
特別利益		
固定資産売却益	-	1,149
特別利益合計	-	1,149
特別損失		
固定資産売却損	9,923	-
固定資産除却損	1,372	2,102
特別損失合計	11,295	2,102
税金等調整前四半期純利益	523,239	664,155
法人税、住民税及び事業税	3,888	262,746
法人税等調整額	150,370	△21,368
法人税等合計	154,259	241,378
四半期純利益	368,979	422,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,979	422,776



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	368,979	422,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,298	△333
その他の包括利益合計	△1,298	△333
四半期包括利益	367,680	422,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,680	422,443

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	523,239	664,155
減価償却費	90,470	92,354
固定資産売却損益(△は益)	9,923	△1,149
固定資産除却損	55	0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,030	11,030
引当金の増減額(△は減少)	△11,982	△4,476
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△3,909	4,322
受取利息及び受取配当金	△1,507	△1,922
投資有価証券売却損益(△は益)	△7,102	-
テナント退店違約金受入益	△55,400	△19,576
支払利息	9,899	5,867
売上債権の増減額(△は増加)	△181,230	457,481
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△471,678	△856,210
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	7,360	△10,114
保険積立金の増減額(△は増加)	△17,642	△19,284
その他の資産の増減額(△は増加)	18,008	△43,506
仕入債務の増減額(△は減少)	132,322	405,473
未成工事受入金の増減額(△は減少)	253,037	△226,852
その他の負債の増減額(△は減少)	1,272	△24,613
小計	306,166	432,979
利息及び配当金の受取額	1,607	2,112
利息の支払額	△10,210	△6,059
法人税等の支払額	△7,717	△57,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,846	371,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△155,145	△215,253
有形固定資産の売却による収入	9,040	1,150
投資有価証券の取得による支出	△6,444	-
投資有価証券の売却による収入	15,389	-
貸付けによる支出	△1,350	△2,100
貸付金の回収による収入	2,570	2,148
その他	-	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,938	△213,454

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	△50,000
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△241,255	△172,000
社債の償還による支出	△72,500	△50,000
建設協力金の返済による支出	△2,964	△1,428
配当金の支払額	△87,079	△87,637
その他	-	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△403,798	△361,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△249,890	△203,476
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,957	1,198,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	998,066	995,382

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,123,408	251,728	3,375,137	38,434	3,413,572	—	3,413,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,123,408	251,728	3,375,137	38,434	3,413,572	—	3,413,572
セグメント利益又はセグメント損失(△)	445,232	19,682	464,914	△11,306	453,607	4,200	457,807

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額4,200千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,810,253	62,186	3,872,440	23,591	3,896,031	—	3,896,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,810,253	62,186	3,872,440	23,591	3,896,031	—	3,896,031
セグメント利益又はセグメント損失(△)	643,883	△20,023	623,860	△15,637	608,222	3,900	612,122

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額3,900千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。